

第 52 回全国大会のご案内および報告者の募集

大会準備委員長 大野正英（麗澤大学）

第 52 回全国大会は、2016 年 9 月 17 日（土）、18 日（日）に麗澤大学（千葉県柏市：常磐線南柏駅）にて開催します。大会テーマは下記の通りです。準共通論題および自由論題の報告者を広く募集しますので、以下の募集要項に従ってお申し込みください。

1. 大会テーマ

「公共性の新たな地平」

2. テーマ設定の趣旨

社会における公共精神の衰退に対する危機感から「公共性の回復」が強く求められ、「公共哲学」という学問が注目を集めるようになってすでに 20 年近くが経過した。従来は主に行政が担うものとされてきた公共領域の問題に対して、民間による積極的な関与が求められ、「新しい公共」という理念が提唱された。こうした動きは、市場と政府による二元的秩序から、市民社会を加えた三極構造への転換という大きな変化に沿ったものであり、行政主体の取り組みの行き詰まりを反映したものでもある。

こうした状況の中で、NPO 等の民間による公共的活動は大きな広がりを見せ、社会の中で一定の役割を担うようになってきた。しかし、公共問題に関する市民の対話の促進に関しては、一部では活発な動きがあるものの全体としてはまだ十分とは言えない。他方、企業に関しては、この間に「企業の社会的責任（CSR）」に対する社会的関心が高まり、積極的に社会問題の解決に取り組もうとする姿勢を見せる企業も増えてきている。また、PFI に代表されるような民間企業の公共領域への参入が政策的に奨励された。こうした動きに対しては、公共サービスの効率化を評価する声がある一方で、公共領域に対する市場原理の侵食に対する強い懸念も出ている。

第 52 回大会においては、以上述べたような公共性をめぐる近年の動きを踏まえながら、これからの公共性のあり方について幅広い議論を喚起していくことを目的とする。公共性をめぐるこれまでの議論を基にして、個人と公共との関係性、市場・市民社会・政府のありべき姿、共同性と公共性など、公共哲学に関係する理論的な研究から、公共問題における市民活動の成果と課題、市民対話の促進をめぐる課題、公共領域における企業活動のあり方などに関する実証的研究まで、多様な視点からの報告を通じて、現代の日本社会が抱える公共性をめぐる課題と将来に向けての可能性を探究する大会としたい。

3. 準共通論題および自由論題の報告について〔募集要項〕

本大会より、常勤職をもたない若手報告者を対象として、申請に応じて若手研究者支援制度（唐澤基金）から 1 万円を支援することとなりました。若手研究者の報告を奨励することを目的とする制度ですので、大学院生等に積極的に報告を呼びかけていただきますようお願いいたします。詳しくは、別記「若手研究者支援制度（唐澤基金）のご紹介」をご参照ください。

（1）報告申込み

- Eメールのタイトルを「経済社会学会報告申込（氏名）」としてお申込みください。
- 記載事項

Eメール本文

【氏名・所属・Eメールアドレス・連絡先住所(〒)・電話番号（可能なら携帯電話番号）・報告論題】（若手研究者支援制度を申請する場合には、その旨を記してください。）

添付ファイル（Word形式）

【氏名・所属・報告論題・報告の概要（600字程度、目的・方法・考察・結論を明示した内容）】

- 申込先アドレス：soes52@reitaku-u.ac.jp
- 申込み締切日 2016年4月30日(土)

【注意事項】

- 報告申込後は、原則として論題および報告者の変更・追加はできません。
- 会費納入について

今年度（2015年9月～2016年8月）までの会費を完納していることが報告の前提条件となります。当該年度会費が未納の方には、本案内とともに会費請求書と払込用紙が同封されています。現在非会員の方は、4月末までに入会手続きと会費納入を完了してください。入会手続きおよび会費納入先については、当学会HPをご覧ください。その際、報告希望のメールに、入会手続き中である旨を明記してください。

経済社会学会 HP 「入会」 <http://web.waseda.jp/assoc-soes/join>

（2）結果の通知

報告の採択の可否については、提出された「報告の概要」をプログラム委員会にて検討のうえ、東西合同役員会を経たうえで6月中旬に連絡します。その後、報告日時および座長・予定討論者は6月下旬頃にお知らせします。

(3) 報告要旨集の原稿執筆

採択された方は 7 月 10 日(日)までに、以下の書式に従い E メールにて大会当日配付用要旨集の原稿を提出してください。

【A4 版 4 ページ以内 (図表含む)、Word 文書、余白上下左右 30mm、フォント MS 明朝 10.5 ポイント、改行幅 1 行、ページ番号なし、論題は 1 ページ上段中央、氏名 (所属) は次の行の右端】

(4) 報告発表原稿の提出

報告発表原稿 (フルペーパー) は 8 月 31 日 (水) までに、座長・討論者・大会準備委員長にそれぞれご送付ください。分量と様式は自由です。

(5) 問合せ先および提出先

麗澤大学経済学部 経済社会学会第 52 回全国大会事務局 (大野研究室)

〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘 2-1-1 TEL : 04-7173-3482 FAX 04-7173-3263

E-mail: soes52@reitaku-u.ac.jp

若手研究者支援制度 (唐澤基金) のご紹介

一昨年 (2014 年) の 9 月 18 日にご逝去された唐澤和義・元会員 (理事、監事) のご遺志により、昨年 9 月 25 日に若手研究者支援制度 (唐澤基金) が設立され、同基金規約により平成 27 年 9 月 27 日から下記の要領で運用が開始されました。対象となられる会員の皆様、積極的にご利用ください。

①支援対象者 : 常勤職にない若手の当学会会員

②支援額 : 1 名につき 1 万円

③支援申請 : 当該年度の全国大会報告希望エントリー時に、本制度の適用を申請し大会報告者に決定され報告を行った者

④決定通知 : 支援候補者に決定した会員には、担当理事からその旨を通知いたします。

(宇佐見義尚)